

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) R.U
所属 (School)
大阪府立大大学生大学院理学系研究科
学年 (Grade) 博士後期課程 1 年
留学先 (Name of overseas institution)
国立台湾師範大学
留学期間 (study abroad period)
2018 年 4 月 25 日~2018 年 4 月 28 日

留学レポート Study Abroad Report

2018 年 4 月 25 日から 4 月 28 日までの 4 日間、私は The 4th Joint Symposium of OPU, NTUT, and NTNU に参加するために国立台湾師範大学を訪問しました。私は研究室に配属されてから 4 年間で様々な学会に参加させていただきましたが、国際学会も英語での口頭発表も初めての経験でした。そして、今回の台湾での経験は私にとって自身の成長につながるものとなったと考えています。そこで、今回の学会で得られた経験を以下に示します。

1. 国立台湾師範大学理学院物化学系での研究室見学

The 4th Joint Symposium of OPU, NTUT, and NTNU の会場となった大学は、台北市大安区に立地した国立台湾師範大学でした。非常に広大な敷地内を有し、大きなビルが立ち並ぶ道路に面した都会的なキャンパスという印象を受けました。台湾師範大学の公館キャンパスには理学院化学系があり、今回の台湾滞在期間中に研究室の見学を行うという貴重な体験をさせていただきました。私たちの研究室と比較すると、学生の人数が多く実験室が少し狭いように感じましたが、実験器具や設備が非常に充実していました。X 線結晶構造解析、NMR、質量分析など各種スペクトルは最新の装置で行われており、さらにそれぞれの装置には専門の技術職員の方がおられるということに驚きました。自分たちの研究室では各種スペクトルは自分で測定しますが、うまく測定できない等の問題が発生することもあるため、専門の方に測定していただけるのは非常に便利だと思いました。また、見学させていただいたどの研究室においても学生の方々が熱心の実験しておられ、親近感を感じたと同時に実験に対するモチベーションが上がりました。



2. 研究発表(口頭発表)

右の写真は国立台湾師範大学での自身の研究内容 (Synthesis and Structures of 1,1'-Binaphthyl-Substituted Diphosphene and its Gold(I) Complex)の発表風景です。私は 10 分間の英語での研究発表を行いました。今回の国際シンポジウムで口頭発表することが決まった日からスライドや原稿を作り、毎日発表練習をして発表に臨みました。発表を行ったホールは想像以上に大きく、さらに先生方が英語で発表されたり活発にディスカッションされている光景に圧倒され非常に緊張してしまいました。発表を終えて思ったことは、何度も練習したにも関わらず練習通りに話せなかったこと、質疑応答の時間で熱心に質問をさせていただいているにもかかわらず的確な返答をすることができなかったことから、もっと自分の研究内容や考えを的確に伝えたかったという悔しい気持ちになりました。また、英語で発表しながらレーザーポインターで支持するのは日本語での発表よりも難しいということに気づきました。このように自分の英語力の低さから今回は満足の行く発表はできませんでしたが、この貴重な体験で気づけたことや悔しい思いを忘れずに、次の英語での発表をする機会に繋げていけるように、日々英語力を向上させていきたいと思いました。



3. まとめ

今回の国際シンポジウムを通して、台湾の先生方や学生の方々とディスカッションし、研究内容以外にも台湾の文化など多くのことを学ばせていただくことができたことは、私にとって非常に良い経験になりました。これまで日本ではあまり感じませんでしたが、日々英語を伸ばしていかなければならないという気持ちになり、普段から積極的に英語でのコミュニケーションを実践したり勉強していきたいと考えています。次にこのような英語で発表させていただく機会があれば、是非参加し、今回の留学を通して学んだり反省した点を生かして発表したいと思います。

大阪府立大学では国際学会に参加したりゲストプロフェッサーとディスカッションするチャンスがあると思いますが、このようなチャンスでしか学べないことや気づけないことがたくさんあると思うので、みなさんもぜひ参加してみてください。



正中紀念



蔣介石像